

中野市長のブラジル国家勲章（リオ・ブランコ勲章）の受章について

この度、中野市長がブラジル連邦共和国からリオ・ブランコ国家勲章（※）コメンダドール位を受章し、下記のとおり、リオ・ブランコ国家勲章叙勲伝達式が行われます。つきましては、取材方よろしくお願ひいたします。

記

- 日時 令和8年6月3日（水）午後3時から1時間程度
- 場所 在浜松ブラジル総領事館1階
（浜松市中央区元城町115-10元城町共同ビル）
- 出席者 浜松市長 中野 祐介
在浜松ブラジル総領事館臨時代理 クラーク・ジウサンドラ参事官ほか
- 式次第 開会
日本国歌およびブラジル国家斉唱
在浜松ブラジル総領事館挨拶
勲章及び勲記授与
受章者からの言葉
写真撮影
閉会

※リオ・ブランコ国家勲章について

リオ・ブランコ国家勲章は、外交分野における極めて顕著な功績が認められたブラジル人及び外国人に対して、ブラジル連邦共和国大統領が授与する最高の国家勲章の一つ。この勲章は、1963年にジョアン・グラール大統領の大統領令により定められたもので、その名称は20世紀初頭にブラジルの外交において活躍した政治家、リオ・ブランコ男爵の名前に因んだもの。

※2026年のブラジル国外でのリオ・ブランコ国家勲章受章者は12人で、うち3名が日本人である。

<受章理由>在浜松ブラジル総領事館提供

この度の浜松市長 中野 祐介様に対するリオ・ブランコ国家勲章の叙勲は、日伯両国間における歴史的友好関係の強化に向けた、市長の顕著かつ不断の尽力を高く称えるものである。

2023年5月の市長就任以来、中野市長は、「日本の中のブラジル」と称される浜松市において、多文化共生施策を推進し、相互尊重に基づく包摂的な社会づくりに重要な役割を果たしている。また、中野市長は、具体的政策の実施と真摯な対話を通じ、ブラジル人コミュニティに対する深い敬意と継続的な協力姿勢を一貫して示してこられた。その姿勢は、ブラジル人コミュニティが地域社会を構成する重要な存在として尊重される環境の醸成に大きく寄与している。

このたびの叙勲は、これらの顕著な功績を称えるとともに、日本におけるブラジルの最も重要な友人の一人に対する深い感謝の意を表すものである。

＜浜松市関連の過去の主な受章者＞

氏名	役職等	受章年	勲章位
鈴木 康友 氏	静岡県知事	2011年	コメンダドール／司令官位
高木 昭三 氏	日伯交流協会前会長	2013年	コメンダドール／司令官位
児玉 哲義 氏	空手道場師範	2009年	オフィシアル／将校位
増子ジョアン利栄 氏	日系2世実業家	2022年	カヴァレイロ／騎士位
松本 雅美 氏	ムンド・デ・アレグリア校長	2023年	カヴァレイロ／騎士位
鍵山 三加子 氏	在浜松ブラジル総領事館 総領事秘書	2022年	功労メダル